

手足口病の流行について

根室保健所

手足口病とは？

ウイルスの感染によって、口の中や、手足などに水泡性の発疹が出る感染症です。
5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏季に流行します。

- 感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水泡性発疹が出ます。
- 発熱は、約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はなく、ほとんどの発病者は、数日間のうちに直る病気です。
- まれに、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出ることがありますので、経過を注意深く観察し、合併症に注意する必要があります。

予防法は？

- 予防接種はなく、発病を予防する薬はありません。
- 感染経路は、飛沫感染や接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入り感染する）ですので、日ごろから、うがい・手洗いをしっかりと行うことが大切です。
- 特におむつを交換するときは、排泄物を適切に処理し、しっかりと流水と石けんで手洗いを行ってください。

かかってしまったら？

- 特効薬はなく、特別な治療法はありません。基本的には軽い症状の病気ですので、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。
- まれに、中枢神経系の合併症が起こる場合がありますので、経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えられない、呼吸が早くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこがでない、ぐったりとしているなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診してください。

※詳しい発生状況や今後の動向につきましては、北海道立衛生研究所ホームページ（感染症情報センターのページ）を御参照願います。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）



【問い合わせ先】

根室保健所 健康推進課保健係

住所：根室市弥栄町2丁目1番地

電話：0153-23-5161